

広島市立大学 情報科学部から巣立つ

石光俊介

情報科学部長

デジタル化による改革のために不可欠な人材が、質・量ともに社会全体で不足しています。

- 国：デジタル人材の育成・確保は重要な柱
 - 「デジタル田園都市構想」（閣議決定 2023/12/26）
 - 2026年までに230万人の「デジタル推進人材」
- 地方自治体：デジタル人材育成・定着
 - 広島県情報システム人材育成プラン(2023年3月)
 - 「情報」の必修化
 - 人材育成・定着の各種事業実施
 - ひろしまDX人材育成奨学金
 - 山口県 大学等地域活性化人材育成推進事業
- 産業界：デジタル革新を担える能力開発が喫緊の課題
 - 「Society5.0を切り拓く人材の育成」（経団連 2020年3月）
 - 各地域の産学官が連携して、企業や地域産業のニーズに基づいたカリキュラムを開発していくことが有益

情報科学部で学び、

情報科学部から巣立つ



社会の変化とニーズに
対応する

地域のデジタル人材の
育成や定着に貢献

情報科学部設置
31年目

産学連携教育の実施

• 産学連携教育の目指すところ

- 地域社会で、特にIT分野で意欲的に活躍し、本地域のIT利活用推進に貢献できる人材の育成
- 大学の専門基礎力に加え、企業や自治体とのITを必要とする現場において実践的専門教育を受ける
- 企業に大学の人材を知ってもらう
- 地域・産業界が求める人材像を学生が知り、自らの将来像を早く描く
- 教育を通して、企業との共同研究に展開

• 実施方法

- 企業から出講（座学の講義）
- 問題発見型、課題解決型学習を通して、企業現場を含むフィールドワークによる課題の背景調査や課題解決のプロセスを体験
- 企業等現場で就業体験、実践的なシステム開発（インターンシップ）

• 設置科目：学部2、3年生専門科目、大学院1,2年生科目

• 課題例（2025年度）

- AI検索精度向上手法の検証とサービス組み込みを想定した実装
- 生活/仕事における well-being 状態の自動推定 & フィードフォワードシステムの構築



情報化社会を支える技術

AIを処理するコンピュータ

- ・高性能・高速処理
- ・頑強コンピュータ開発



AIのデータの情報伝達網

- ・インターネット、モバイル
- ・センサー
- ・セキュリティ



情報工学科

システム工学科

最先端技術
～AIを例に～



AIの要（かなめ）技術

- ・機械学習
- ・情報検索
- ・ビッグデータ解析
- ・画像処理
- ・統計学等数学



X^2



知能工学科

医用情報科学科

AIと共生する技術

- ・ロボティクス
- ・安全な情報処理機器開発
- ・機器制御
- ・人間工学
- ・音響工学



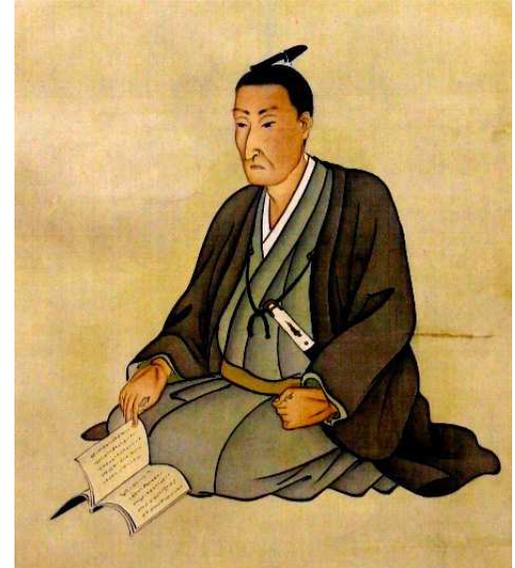
AIの医用分野展開

- ・生体情報科学
- ・医用ロボット
- ・医用画像
- ・生体センサ



立志について

- 自分探し（講義）
 - 自分には天から授かったかけがえない尊い独特の持ち味があると信じて、それを見つける
- 自分の持ち味を卓越した状態にまで高めるように努力する（卒業研究）
- 立志とは自分の持ち味を発揮することが世の中の人のために役立つという自分独特の道を見つけ、その道に志すこと(社会へ)



イノベーション人材育成プログラム

社会の課題に目を向け、創造的な解決策に挑戦するIT人材の育成

プログラミングが得意なら・・・

革新的 ICT 実践特別コース

「ものづくり」を極めた
スーパーシステムエンジニアへ！

数学が得意なら・・・

革新的情報科学特別コース

科学的探究能力をもつIT技術へ！

- 特徴：
1. 学習意欲と共に得意分野を伸ばす教育プログラム
 2. 能力に応じた柔軟な学習を支援
 3. 優先的な学科・研究室配属により好きな分野での学習を支援
 4. 大学院への早期進学も可能（習熟度に応じた学習を支援）
 - 最短で5年（学部3年＋大学院2年）で修士号取得可能

- 各コース 40 名を対象とした選抜プログラム
- 誰でもチャレンジ可能
- 総合型選抜入学者は優先受講可能

卒業、進路決定に向けて

- あらゆる分野でIT人材が求められている
 - 地域における人材育成・定着
- 急速な技術進展に対応できるIT人材
- 企業のwith/afterコロナの働き方に変化



- 立志する
 - 自分の持ち味を卓越化
- 自己分析
 - どんな分野でどんな仕事がしたいかを明確に
- 進学も視野に
 - 奨学金制度：大学独自奨学金(企業) + 自治体の奨学金制度
- 企業研究
 - IT人材として活躍できる場を知る
- 情報にふりまわされない

情報科学部で学び、

情報科学部から巣立つ



社会の変化とニーズに
対応する

地域のデジタル人材の
育成や定着に貢献

情報科学部設置
31年目